

名称	令和3年度 WEBによる道路現場見学会 (ライブ配信)		
実施日	令和3年10月15日(金)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室
参加者数	88名 (会員88名 (33社)、非会員 - 名)		

実施目的

本現場見学会は、日頃の設計成果と現場の関係性を知り、現場に適した設計へ繋げることを期待して実施するものである。例年は実際に稼働している現場を訪問していたが、現在のコロナ禍における情勢を鑑み、今年度は、初めてWEBによる見学会を開催することとした。

実施概要

1. 開催概要

今年度における現場見学会は、建コン関東支部会議室、中日本高速道路株式会社 東京支社 沼津工事事務所、国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所をつなぎ、MicrosoftTeamsにより初めてWEBによる見学会を開催した。各講演後にはTeamsのチャット機能やメールを利用した質疑応答を行った。また、東関道水戸線の現場では、ドローンのLIVE配信により現地状況を紹介した。

●令和3年度 WEBによる道路現場見学会 プログラム

13:10 ~13:10	開会挨拶 講習会に関する注意事項	道路専門委員会 委員長 久保 卓人 道路専門委員会行事WGリーダー 横川 忠史
13:10 ~14:50	プロジェクトI 新東名高速道路 (御殿場JCT~神奈川・静岡県境) (1) 事業概要 (2) 開通区間の概要 (3) 建設中区間の概要 ・小山西工事区 工事概要 ・小山東工事区 工事概要 ※途中 休憩	中日本高速道路株式会社 東京支社 沼津工事事務所 工務課長 佐藤 嘉教 様 小山西工事長 山田 宏道 様 小山東工事長 関田 晶生 様
14:50 ~15:05	休憩(15分)	
15:05 ~16:20	プロジェクトII 東関道自動車道水戸線 (潮来~銚田) (1) 事業概要 (2) 建設中区間の概要 ・潮来IC~銚田IC ※途中 休憩	国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所 建設監督官 谷部 哲男 様 建設監督官 永岡 勝典 様
16:20 ~16:30	閉会挨拶	道路専門委員会 副委員長 竹花 達也



新東名高速道路 事業概要説明



動画による上部施工手順説明



ドローンLIVE配信

2. 講演内容

I 新東名高速道路 (御殿場 JCT~神奈川・静岡県境)

①事業概要

- ・沼津工事事務所管内の事業概要、事業の歩み、事業スキームについて説明。
- ・開通区間において採用した本線低位置照明、ランプ部へのロードヒーティング、逆走防止対策について紹介。

②小山西工事区

- ・湯船原トンネル工事の特徴、工夫点を説明。
- ・ウェアラブルカメラによる遠隔臨場の事例について紹介。コンクリート品質、材料試験など離れた場所でもリアルタイムに共有できることを説明。

③小山東工事区

- ・山間地に計画された工事区内の3つの高架橋の概要、上部工施工手順について動画を使って説明。
- ・質疑応答では、スコリア部切土法面への植生方法、盛土への転用時の工夫等について説明。

II 東関道水戸線 (潮来~銚田)

①事業概要

- ・動画により東関道水戸線の事業を紹介。

②R2 東関道小泉高架橋下部その3工事

- ・BIM/CIM活用事例として、3Dモデルの作成や3Dスキャナーによる出来高管理事例を紹介。
- ・遠隔臨場の具体例として、鉄筋検査実施状況を紹介。

③H30 東関東川尾地区函渠工事

- ・開削工法により施工した函渠工事の概要を説明するとともに、ドローンのLIVE配信により現場状況を紹介。

④R2 東関東青沼地区地盤改良工事

- ・仮設柵の設置、植生マットやモルタル吹付等による工事中の土砂流出対策事例を紹介。
- ・質疑応答では、設計時に配慮すべき事項として工事用道路を含めた流末処理の重要性を説明。

3. アンケート結果

講習会終了後に、現場見学会の内容やオンライン開催について質問するアンケートをWEB方式で実施した。

今回、始めてWEBでの現場見学会であったが、現地までの移動がなく参加しやすいなどのほか、現地内移動がなく効率的だったこと、全体を俯瞰できたこと、複数の現場見学ができたことが良かった点として挙げられた。一方、音声や映像に関しては、やや聞き取りにくく、画像の乱れがあったことから、改善を要望する声があった。

現場見学会については、ほぼ全員がWEBに限らず参加したいと回答し、このうち約15%がWEB開催であれば参加したいと回答している。

なお、本講習会では受講料として1,000円を徴収したが、約95%が妥当な金額であるとの回答であった。